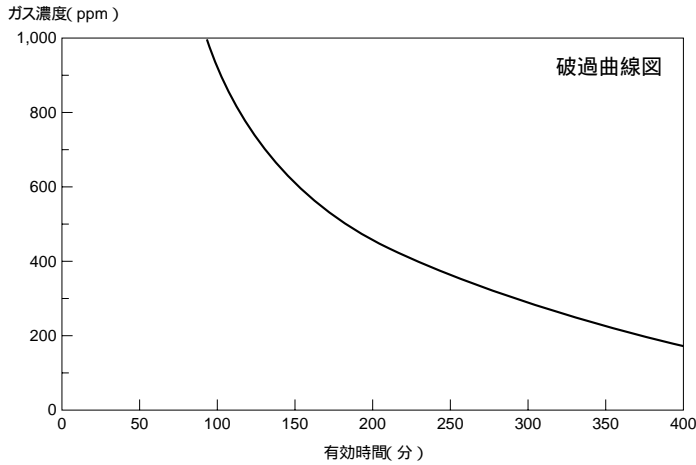


有効時間

理論上0.01%（100ppm）の四塩化炭素の環境の中で約25時間の使用が可能です。以下が有効時間の計算式です。

環境中の濃度が0.01%（100ppm）の時

6001の除毒能力は0.03%（300ppm）のガスに対して250分以上なので、 $0.03\% \times 250分 = 7.5\% \cdot 分$



試験条件

試験流量

吸収缶1個当り毎分30リットル

破過濃度

5ppmの濃度を検出するまでの時間

（1ppmは100万分の1の濃度）

試験有機溶剤

四塩化炭素

以上のように理論的に計算できますが、環境中の濃度は常に一定ではありませんし、ガスの種類または防毒マスクの保管方法によっても計算通りの時間使用できるとは限りません。安全を考慮して早めに新品の吸収缶とお取り替えください。また、使用中に臭気を感じたり異常を感じた場合は直ちに新品とお取り替えください。